

(別紙1)

果樹産地輸出計画

1 基本情報

協議会名	〇〇産地協議会		品目	××××
市町村名	▼▼市	事業実施期間※	年 月 ～ 年 月	
産地構造改革計画名	第〇期〇〇産地構造改革計画		策定（更新）年月	〇〇年〇月

※事業実施期間は最長で3カ年とする。

2 輸出に取り組む背景・ニーズの把握状況

例：これまで産地では、〇〇市場をターゲットとし、〇〇を特色とした〇〇を生産してきた。一方で、今後の国内人口減少を見据え、海外販路開拓の必要性が高まっている。
〇〇は海外においてその外観・品質の良さから贈答用需要が高い。しかし、海外での高い需要に対し、流通量は少なく、輸出拡大の可能性があるため、取組を実施する。

3 輸出拡大に向けた課題

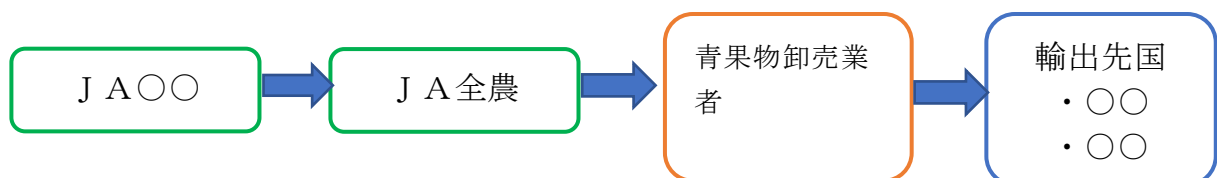
例：海外への販路拡大は重要である一方で、産地では生産者の高齢化や労働力不足により近年、生産量の維持が課題となっているため、産地の生産基盤強化が必要である。また、輸出先では高品質な果実が求められるが、近年、流通過程での品質低下や腐敗によるロスが多発しているため、品質低下・腐敗の防止に取り組む必要がある。

4 取組内容（生産、加工、物流、販売等の改善を図る内容を具体的に記載）

例：優良品種の新植・改植により生産力向上を図るとともに、スマート農業技術の導入、省力樹形モデル園地の実証、大苗の供給体制モデルの実証により産地の生産基盤強化を図り、安定的な出荷先としてまずは〇〇市場のシェアを確保しつつ、輸出先国〇〇への輸出を目指す。
輸出先国〇〇では外観の良さが重要視されていることから、栽培期間中の傷を防ぐため、防風ネットの設置を進める。また、鮮度保持資材「〇〇〇」を活用し、流通過程での腐りや萎びによる品質低下を防止する。

5 輸出実施体制図

(記入例)



6 輸出する品目の現状及び目標

(輸出品目：例：カンキツ)

	現状 (例：令和 7 年)	目標年※ (例：令和 1 0 年)	備考
輸出額(千円)	500 千円	2,500 千円	
輸出量(t)	1t	5t	
輸出先国	台湾、香港	台湾、香港	

※ 目標年は、計画最終年とする。

産地協議会の事務局担当者名及び連絡先	氏名（ふりがな）：
	所属（部署名等）：
	役職：
	電話番号：
	FAX：
	E-mail：